

出版流通改革レポート

NIPPAN Progress Report

Vol.01

2021.09.01

Topics

取引構造改革

- ①PPIプレミアムの成果と拡大
- ②デジタル印刷技術を用いた取り組み

サプライチェーン改革

- ③コース再編に向けた研究と協議
- ④コース最適化の先行実施に向けて

▼前回の発信内容は[こちら](#)

[NIPPAN Conference 2021 開催報告](#)



出版流通改革で目指す姿

—この先の未来にも、街に書店様と本があり続ける世界をつくる

当社の考える出版業界のあるべき姿は、**出版物の多様性を守ると同時に、書店様が儲かる構造をつくる**ことです。

当社は創業以来、文化を担う出版物を、そこから生まれる心の豊かさを、読者に届け続けてきました。これからも良い本がつけられ、全国に本と出会う場があり、1冊1冊がしっかりと読者の手に届く。こういった当たり前の姿を守っていきたいと考えています。そして、**この先の未来にも、街に書店様と本があり続ける世界をつくる**という想いを持って、出版流通改革に取り組みます。

—「取引構造改革」と「サプライチェーン改革」に取り組む

当社が掲げる出版流通改革は、物流協業や拠点統廃合などの取次自助努力によるコスト削減を前提として、「**取引構造改革**」と「**サプライチェーン改革**」により、**出版社様・書店様・取次のビジネスが成立し、紙の出版物を全国へ流通し続けられる状態をつくる**ことを目指すものです。

< 出版流通改革 ロードマップ >

		2021年度	2022年度	2023年度	
取引構造改革	PPI プレミアム	書店様と運用ルール整備 取組み書店様売場シェア30% (出版社様と契約) グループ書店で売場シェア 50%で先行実証	シェア拡大	売場シェア50% 返品率15% →マージン30%	オープン データに基づく 取引体系を スタンダード な形へ
	オープン データPF	オープンデータ プラットフォーム拡張 AI需要予測実証	出版社様・書店様の マーケティングに活用 新刊配本・既刊補充への活用		
	業務 DX	ネットワーク在庫・デジタル印刷 取り組み開始 RFID実証実験	Web仕入受付 利用出版社様拡大 利用領域拡大		業務DXで 業界コストの 削減に貢献
サプライ チェーン 改革	出版配送	地域ごとの調査 一部地域からコース再編 他業種配送との取込・乗入	制約緩和が進み 柔軟な配送へ	オープン化 (出版配送が活用され、 様々な商材が効率的 に配送できている)	持続可能な 出版配送の 実現

出版流通改革の全体像

【取引構造改革】

取引構造改革では、流通の最適化と業務プロセスの効率化を実現することと、書店様のマージンを30%以上にすることを目指します。その打ち手として、以下の3点を主要な取り組みとして位置づけています。

PPIプレミアム・・・売上拡大・返品減・コスト削減により得られたプロフィットを書店様に還元することで、書店様の収益改善を実現するため、返品減・高利幅スキームの取り組みを拡大する。日販は書店様へのプロフィット還元に関わり、責任を持つリスクを負って、目標達成に向けてスキームの舵取りを行う。

オープンデータプラットフォーム・・・マーケティング精度の向上や各社の業務効率化、需要予測など、流通の最適化への活用のため、業界3者でよりオープンにデータをシェアできる環境を整える。

業務DX・・・業務プロセスの効率化の他、店頭への最適な商品供給体制を構築するため、ネットワーク在庫（出版社様倉庫との在庫データ連携）やデジタル印刷技術の活用に取り組む。

【サプライチェーン改革】

サプライチェーン改革では、持続可能な出版配送の構築を実現することを目指します。配送コース再編により現地配送の効率を向上させ、配送のオープン化として本以外の商材の取り込みや他業種配送への乗り入れを行うことで、運送会社様の運行効率を向上させます。これにより、たとえ出版物の流通量が減少し続けたとしても、これ以上効率が悪化しない状態を目指します。

進捗報告：取引構造改革

【Topic ①】PPIプレミアム、先行取り組みの成果と拡大状況

－店頭売上アップ・返品減に成果

書店様の収益改善を実現させるためのスキームであるPPIプレミアムに以前からお取り組みいただいている、出版社様11社と、グループ書店126店舗の実績（2021年7月時点）は、POS前年比 114.7%（全国動向差+13.3p）、返品率22.4%（全国動向差△11.4p）で、店頭売上アップ・返品減の成果を生み出しています。

－全国各地の書店様が続々と参加の意思を表明

この成果を受けて、全国各地の書店様7社から参加の意思を表明いただきました。前述の出版社様の内、10社と、まずは各書店様と選定した店舗で10月より取り組みをスタート予定です。

出版社様11社：インプレス様、SBクリエイティブ様、翔泳社様、新星出版社様、スタート出版様、TAC様、徳間書店様、童心社様、PHP研究所様、平凡社様、ポプラ社様

書店様7社：オー・エンターテイメント様、啓文社様、三省堂書店様、真光書店様、八文字屋様、ふたば書房様、文教堂グループホールディングス様

ー出版社様からも賛同の声、10月より新たに取り組み開始

グループ書店126店舗では、新たに6社の出版社様と10月より取り組みをスタートします。また、この他にも多くのご賛同をいただいております。

10月開始の出版社様：光文社様、サンクチュアリ・パブリッシング様、扶桑社様ほか (9/1現在の状況)
 ご賛同いただいている出版社様：KADOKAWA様、実業之日本社様、三笠書房様・フランス書院様ほか

ー業界全体でよりオープンにデータをシェア

オープンデータプラットフォームを活用した取り組みも進めております。今後、Catalyst・Data・Partners様と協力体制を築きながら、データの量と範囲の拡大によるマーケティング精度の向上や、統合データによる業務効率化を実現してまいります。加えて、店頭売上や顧客購買履歴の実績に基づいた、店頭・顧客起点の需要予測を提供し、PPIプレミアムの効果を最大化することも志向してまいります。

2023年度には、書店様マージン30%を達成することを目標に、引き続きPPIプレミアムの拡大を行ってまいります。

【Topic ②】 デジタル印刷技術を用いた取り組み先行スタート

当社はこれまで、アドバンスMDやリリーファといったサービスを書店様とともに作りながら、店頭売上の最大化や返品率の削減に取り組んできました。今後も、欠品防止によるさらなる売上アップのため、商品供給体制をより一層整えていきます。

そのなかで、大日本印刷様のデジタル印刷技術（POD）を用い、出版社様2社と重版対象となる商品や出版社様欠品アイテムを対象とした注文送品の取り組みを5月より開始しました。これにより、タイムリーな追加送品による売上創出と返品抑制の実現を目指します。今後、さらなる取り組みの拡大に向けて、お取引先のみなさまと引き続き協議してまいります。

共同取り組み社様：大日本印刷様、河出書房新社様、PHP研究所様

用語解説

アドバンスMD：新刊配本申込サービス

リリーファ：全国での売上ランク上位銘柄の発注代行サービス

<取引構造改革 ロードマップと進捗>

		2021年度	2022年度	2023年度	
取引構造改革	PPI プレミアム	書店様と運用ルール整備	シェア拡大	売場シェア50% 返品率15% →マージン30%	オープンデータに基づく取引体系をスタンダードな形へ
		取組み書店様売場シェア30% (出版社様と契約)			
		グループ書店で売場シェア50%で先行実証			
	オープンデータPF	オープンデータプラットフォーム拡張	出版社様・書店様のマーケティングに活用		
		AI需要予測実証	新刊配本・既刊補充への活用		
	業務DX	ネットワークを基・デジタル印刷取り組み開始	Web仕入受付		業務DXで業界コストの削減に貢献
		RFID実証実験	利用出版社様拡大		
			利用領域拡大		
サプライチェーン改革	出版配送	地域ごとの調査		オープン化 (出版配送が活用され、様々な題材が効率的に配送できている)	持続可能な出版配送の実現
		一部地域からコース再編	制約緩和が進み柔軟な配送へ		
		他業種配送との取込・乗入			

進捗報告：サプライチェーン改革

【Topic ③】コース再編に向けた研究、協議開始

現地配送の効率の悪さを改善し、出版配送を持続可能な形にするため、運送会社様にご協力を仰ぎながら、コースの再編に取り組んでいます。

出版輸送を担う全国の運送会社様23社と延べ31回にわたり、再編実行に向けて本格的な協議を実施し、課題認識への共感とNIPPAN Conference 2021で発表した弊社の方針に対する多くの賛同の声をいただきました。

一方で、再編にあたっては、各地域特有の具体的な課題についても問題提起いただきました。業界関係者のみなさまとともに課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【Topic ④】コース最適化の先行実施に向けて（首都圏エリア）

まずは物量のシェアが大きい首都圏エリアを配送効率化の先行ターゲットとし、4社の運送会社様と協議を進めています。効率化の制約となる条件（納品時間指定など）を緩和することによって配送効率が改善するという仮説のもと、配送シミュレーションを繰り返し行い、運送会社様と配送の持続に対する共通の危機意識を持ち、論議を重ねてまいりました。

そして現在、首都圏の一部エリアでは具体的なコース最適化プランを策定しています。効率化のために、運送会社様と一緒に緩和したい納品条件の確認を進め、当該エリアのお取引先様へのご相談を、2021年9月より開始する予定です。みなさまのご理解をいただきながら、2021年度中を目標に先行エリアでのコース再編を進めてまいります。以降、順次全国のエリアへの拡大にも取り組んでいきます。

加えて、運送会社様などにいただいたご意見をもとに、改めて他業種との共同配送についての検討・調査を引き続き行ってまいります。

補足情報

配送効率化のため、お取引先のみなさまにご協力をお願いしていくこと

- ・納品指定時間の緩和
- ・納品場所と形態の変更

< サプライチェーン改革 ロードマップと進捗 >

		2021年度	2022年度	2023年度	
取引流通改革	PPI プレミアム	書店様と運用ルール整備 取組み書店様売場シェア30% (出版社様と共有)	シェア拡大	売場シェア50% 返品率15% →マージン30%	オープンデータに基づく取引体系をスタンダードな形へ
	オープン データPF	グループ書店で売場シェア50%で先行実施 オープンデータプラットフォーム拡張	出版社様・書店様のマーケティングに活用		
		AI需要予測実証	新刊配本・既刊補充への活用		
	業務 DX	ネットワーク在庫・デジタル印刷取組み開始 RFID実証実験	Web仕入受付 利用出版社様拡大 利用領域拡大	業務DXで業界コストの削減に貢献	
サ プ ラ イ ー ク 改 革	出版配送	地域ごとの調査 一部地域からコース再編 他業種配送との取込・乗入	制約緩和が進み柔軟な配送へ	オープン化 (出版配送が活用され、様々な商材が効率的に配送できている)	持続可能な出版配送の実現

日版は今後も、定期的に出版流通改革レポートを発信予定です。
この先の未来にも、街に書店様と本があり続ける世界をつくるため、出版流通改革へのご理解ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ

日本出版販売株式会社 社長室広報課 吉野
TEL.03-3233-3829 FAX.03-3233-6045
E-mail:press@nippan.co.jp